

第2回地区庶務担当理事連絡協議会

(平成29年5月24日開催分)

△森会長挨拶

森会長は冒頭、中央情勢について、北朝鮮や中国等がいわゆる独裁的な政権として、アメリカのトランプ大統領も自国の利益を優先する手法をとっており、現在、世界を見渡しても世界の平和的な発展のために尽くすことが出来る本当の意味でのリーダーシップを發揮できる政治家がいないとした。府・市も、利益優先ではなく、府・市民の立場に立った政策を行って欲しいものと願っているが、ときに疑問をもたざるをえない事がなきにしもあらずとの危惧を示した。その上で、医師会も、公明正大な会費の使途を明確にし、会員のみならず、府・市民のための医師会活動を行うことができるかが、大きな課題であるとし、地区医師会と協力して責務を果たしていきたいとの考えを示した。

また、3月に取りまとめた京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）を保健医療計画に移していかなければならない時期に入り、地区医師会の先生方も調整会議等に参画し、府民の立場に立った地域医療計画について議論していただきたいと協力を求め、挨拶を締めくくった。

△報告ならびに協議事項

1. 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付等状況報告書について（谷口理事）

産業廃棄物を排出し、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付した医療機関は、その交付等状況報告書の提出が必要であることを説明。平成28年4月1日から平成29年3月31日までに交付した産業廃棄物管理票（マニフェスト）の内容を1年分まとめて平成29年6月30日までに、医療機関所在地の行政担当部署へ提出するよう依頼した。

2. 最近の中央情勢について（古家理事）

4月下旬から5月中旬にかけての社会・医療保険状況について、総合診療専門医の整備基準や参照価格制度の話題を中心に説明した。

3. 日本脳炎ワクチンについての要望書の提出および接種順位について（禹理事）

「一般財団法人化学及び血清療法研究所（化血研）」において、昨年4月の熊本地震によるワクチン製造部門への被災の影響から、本年5月9日以降、日本脳炎ワクチンが販売会社の在庫消尽をもって供給不可となり、エンセバック皮下注用[®]の供給再開予定の平成30年1月までは全国的に日本脳炎ワクチンが不足することは避けられない事態であると説明。

日本脳炎ワクチンの予約・注文を行う場合、必要な本数に限って行い、過剰な発注は控えるとともに、接種優先順位を考慮した上で、接種を行うよう依頼した。

また、厚生労働省・京都府知事・市長に対して、要望書を提出したことを報告した。

4. 京都府内における流行性耳下腺炎の実態調査について（禹理事）

府医感染症対策委員会において、京都府内における流行性耳下腺炎の実態調査を行うことになり、日本医師会倫理審査委員会に本計画書を提出し、承認されたことを報告。

府医会員の該当医療機関数より、症例数 6,000 人を目標としており、多くの医療機関に調査の協力をお願いしたいと依頼した。

5. 糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて（畑理事）

厚生労働省、日本医師会、日本糖尿病対策推進会議の三者で締結された「糖尿病性腎症重症化予防に係る連携協定」に基づく「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」の策定について、プログラム（案）を作成したことを報告。

地区医には、保健所で開催される京都府糖尿病重症化予防地域戦略会議に出席し、各地区での進め方についてご討議いただきたいと依頼した。

6. 受動喫煙の防止対策を強化・実現するための署名のお願いについて（畑理事）

日医から 2020 年の東京オリンピック・パラリンピック大会の開催にあたり、受動喫煙の防止対策を強化・実現するための署名への協力依頼が行われるとし、屋内における喫煙は、単なるマナーや嗜好の問題ではなく、国民の健康被害の問題として捉えなければならないとの日医の趣意について説明。

署名用紙については、各地区医を通じて、会員に配布いただくとともに、回収についても地区医を通じて、6 月 30 日までに府医必着で送付していただくよう依頼した。また、注意事項として、署名用紙はコピー不可で、苗字・住所が同じ場合でも、「〃」や「同」といった略式で記入しないよう呼びかけた。

7. 京都市胃がんリスク層別化検診（ABC 検診）ならびに京都市胃内視鏡検査の実施について（角水理事）

平成 29 年 6 月 15 日から、京都市の委託を受け、京都市在住の方を対象とする胃がんリスク層別化検診（ABC 検診）を実施することを報告。

実施要領に基づき、一次検診医療機関を募集しているとし、参加を呼びかけた。

8. 第 43 回京都医学会について（小野理事）

今年度は、平成 29 年 9 月 24 日に「第 43 回京都医学会」が開催されることを紹介し、会員各位の積極的な参加と生涯研修と会員の相互交流をはかるため、幅広い領域からの一般演題への応募を呼びかけた。

9. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）

6 月に予定している府医学術講演会を紹介し、多数の参加を募った。

10. その他

なし。

11. 地区からのご意見・ご要望

なし。